

消防のための協力

火事は、いつ、どこで起きるかわかりません。そこで、火事が起きた場合、いつでも、どんな場所でも、すぐに火を消せるようにしておく必要があります。その中心となるのが消防署や各地区にある消防団です。

消防署では、5人1班で2班あり、24時間体制で勤務しています。また、ポンプ車1台、救急車1台、広報車1台があり、いつでも出動できるように準備しています。



▲消防団の活動（検閲）

消防団は、各地区にあり地区の人達が参加していて、地区で火事が起きたときには、消火活動の手伝いをします。みなさんのお父さんの中にも消防団に入っている人がいると思います。また、女性による婦人防火隊という組織もあり夜の見回りなどを行っています。

大きな火事的时候には、隣の金山町からも応援にかけつける協力が体制ができています。

消防団のしくみ

